

分散登校開始後のガイドライン



朝、各ご家庭で

登校前に体温測定と健康観察を行い、Classroom の「健康チェック表」に、朝8時までに回答してください。ホームルーム前に担任教諭がチェックいたします。発熱、また風邪の症状、息苦しい、だるい、などの場合は自宅休養をお願いします。体調が悪い場合だけでなく、不安があり登校できない場合も、学校へ連絡をしてください。欠席とはせずに配慮いたします。

登校時はマスクを着用してください。



登校後は

校舎入り口に抗菌作用のあるマットを用意しました。靴底をきれいにしてから校舎内に入ってください。手指アルコール消毒液は各クラスに一つずつ用意します。教室ではドアは全開し、窓は休み時間は全開、授業中も開けて換気をします。



校内生活について

新しい生活様式に基づき、身体的距離の確保、マスクの着用、まめに手を洗うことなどについて指導します。1教室の生徒の人数を21名以下とし、席の間に可能な限り距離を確保します。



体調不良時の対応、早退について

校内で体調が悪くなった場合は、すぐに帰宅をさせます。安全に帰宅できるよう、ご家庭へ連絡いたしますので、連絡が取れるように準備をお願いいたします。万一長時間にわたり連絡が取れない場合は、学校での感染拡大の配慮から帰宅させることをご了承ください。また、高熱がある場合などの緊急時は、できる限りの対応をさせていただきます。



下校後の教室について

使用した教室の机、いすの背、ドアノブ、スイッチ、リモコンなど生徒が多く触れる部分は、教員が毎日消毒を行います。



教職員の感染症対策について

毎朝の検温や風邪症状の確認などの健康管理に努めています。新しい生活様式を守るとともに、常時マスクを着用し、念のためにフェイスシールドも準備しています。



教育相談、心のケアについて

分散登校後も様々な不安や心理的ストレスを抱える生徒もいると考えています。本校では学級担任、学年、養護教諭、学校カウンセラー、管理職が連携をとって丁寧に支援していきます。各ご家庭におかれましても、休業中に引き続きご心配な点がございましたらご相談くださるようお願いいたします。